



耐久高等学校同窓会報

耐久



No. 19

硬式野球部「耐久舎」「広村堤防」を清掃

- 2006年11月20日、12月18日 -

濱口梧陵創設の「耐久舎(広川町広、県指定史跡)」と
「広村堤防」を硬式野球部員が心を込めて清掃した。

関西耐久会平成18年度総会

♪東雲なぐびく生石山夕
日に映ゆるなぎの海……♪
有田高女・耐久中学・耐
久高校の校旗たなびく中、
老若男女一二〇名の歌声が
響きます。

正午からの3時間は、42期生の林美希さんの司会で、時空を超えた「耐久」一色に染まりました。阪本禎三名譽会長のご挨拶の後、久しぶりに歌つた校歌は、故郷の山、川、海や懐かしい人々や出来事を思い出させてく



「虎風荘」の
寮長に。井
川慶、赤星

憲広、新庄剛志、八木裕、真弓明信など聞くだけでもぞくぞくするような選手たちと18年間、毎日生活を共にし、親の代わりとなり彼らを育て上げた名物寮長です。重みのある言葉が、直球でカーブで次々に投げられましたが、「野球はキャッチボールが基本。いつも、相手が捕りやすいボールを投げるよう心がけながら丁寧にキャッチボールをすることが大切。」これは、日々の生活でも基本になる大切な言葉だと感心いたしました。相手のこと、他人のことを考えることが少なくなつた現在、人生の基礎基本をもう一度学ぶ貴重な機会でもありました。

躍の様子や各地の同窓会の活動状況を知ることができました。

しかし、何といっても今回のメインイベントは、講演「若虎の育て方」です。梅本正之様（高7）は、耐久高校卒業後、大阪（阪神）タイガースに入団、投手と

日々の生活でも基本になる大切な言葉だと感心いたしました。相手のこと、他人のことを考えることが少なくなった現在、人生の基礎基本をもう一度学ぶ貴重な機会でもありました。さて、お待ちかね、前回

丁寧にキャッチボールをすることが大切。これは、

年生（今回は同窓生の子弟、孫まで対象を広げたので）”という構成で、皆様に喜んで頂けたと考えております。

兄弟姉妹を知つたりするなど、あちらこちらでたくさんのサプライズが生まれました。固い握手がとぎれることはありません。あつと
いう間の3時間でした。

キリンビール横浜ビアビ
レッジ（見学）、横浜赤レンガ倉庫パーク（昼食）、神奈川県立生命の星・地球博物館（見学）
という行程で、計画は北野正治副会長に立てていただきまし
た。



関東耐久会

会長 九 鬼 利 郎

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002
株式会社 オフィスココ 桜バンケット内
Tel 03-3359-9520

支部連絡先

和歌山耐久会

会長 田辺 善彦
〒640-8144 和歌山四番丁 26 番地の2
田辺法律事務所内
Tel 073-431-2801

会久耐西閏

会員 萩 平 勲
〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-17-301号
ビジネスインテグレート(㈱)内
Tel 06-6941-8282

関東耐久会バスツアー

去る11月19日（日）に関東耐久会のバス旅行を実施いたしました。

学校支援活動

頑張れ母校！先輩が先生



弁護士・医師 竹中郁夫
（昭和47年卒）
・湯浅町出身
・耐久高校理数科第一期生
・京都大学 法学部卒
・信州大学 医学部卒
・現、札幌市在住
（弁護士・医師）

竹中氏は弁護士、医師としての専門的な立場から、現在の医療情勢の厳しさをまず語られた。また信州大学医学部卒業後、地域医療に強く関心を持たれて諷訪中央病院に勤務されたことについて、地域医療の礎を築いた鎌田實医師のことば「がんばらない」「あきらめない」を引用し、生命の大切さ、生きることのすばらしさについて生徒たちに訴

今回「先輩が先生」の講師として、理数科第一期生（昭和四十七年卒）で、弁護士、医師の竹中郁夫氏を札幌市からお招きし、全校生徒に向けて講演をしていただいた。

竹中氏は弁護士、医師としての専門的な立場から、自身の高校時代、若い頃の悩みや考え方、努力したことなども語られ、示唆に富んだ内容であつた。講演中、専門的な話の中にも気さくな雰囲気や易しさに配慮され、生徒からは「なぜ医師と弁護士の両方の資格を取つたのですか」という質問なども出た。

なお、講演会には同窓会員や、竹中氏の同級生数名も遠路を駆け付け、聴講した。午後6時30分より、和歌山東急イン、平安の間に於て、和歌山耐久会総会が約一一〇名の出席者を得て開催されました。総会開催にさきだち10月7日（土）、10月21日（土）の2度にわたり幹事会（世話人会）を持ち、和歌山市を活動の拠点とする同窓会員によつて和歌山耐久会とする事が確認され、和歌山市及び有田・海草・伊都・橋本・紀ノ川、岩出、海南市の約三五〇〇名の耐久中学・有田高女・耐久高校の同窓生に案内が出されました。

総会は浦口高典氏の司会で進められ、田辺善彦和歌山耐久会長の開会の挨拶。三尾和子さんの伴奏にて校歌齊唱。岩橋憲司校長・下野憲英同窓会長・萩平勲閑西耐久会長の来賓祝辞。中田實宏和歌山耐久会幹事長による経過報告ならびに会則・役員案採択。同窓会事務局白井敏之先生の乾杯の音頭で、懇親会が始まりました。

「後輩に伝えたいこと—今後の医療問題を含めて」

弁護士・医師 竹中郁夫

えられた。
またご

自身の高

い頃の悩

みや考え、

努力した

ことなど

も語られ、

示唆に富んだ内容であつた。

講演中、専門的な話の中に

も気さくな雰囲気や易しさに

配慮され、生徒からは「なぜ

医師と弁護士の両方の資格を

取つたのですか」という質問

なども出た。

なお、講演会には同窓会員や、竹中氏の同級生数名も遠

路を駆け付け、聴講した。

和歌山耐久会平成18年度総会

平成18年11月22日（水）

小畠英三和歌山耐久会副会長の閉会の辞により午後

9時を過ぎる時間に終了。

約2時間半もの長時間に渡るなつかしい歓談の有意義な時間を持つ事となりました。

尚、総会で選出された和歌山耐久会役員は次の通りです。



田辺法律事務所
弁護士 田辺善彦
(高14期)
TEL 060-8144 和歌山市西園寺126番地の2
TEL 073-431-2801
FAX 073-433-2299

小畠産業株式会社
代表取締役 小畠英三
(高18期)
TEL 060-8033 和歌山市木原町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
e-mail:kobata@kobatasangyo.co.jp

保険コンサルタント/ファイナンシャルプランナー
和歌山FP総研
代表 川島忠弘(高37期)
TEL 060-8331 和歌山市美園町5-6-12
TEL 073-424-6611 FAX 020-4624-8330
E-mail:takas315@ybb.ne.jp
HP: http://www.geocities.jp/wfp_soken/

株式会社 和通
代表取締役 中田實宏
(高17期)
TEL 060-8341 和歌山市堀川279-4
TEL 073-475-0310
FAX 073-475-0320

さわやか青少年育成道場
ニッケンスクール高典塾
塾長 浦口高典
(日本拳法協会師範・七段)
耐久高校相撲部出身・高3期
TEL 061-0031 和歌山市西小里2-4-82
和歌浦温泉企画ビル1F
TEL 073-424-6611 勉事務局

和歌山耐久会についてのお問い合わせ・ご提言は何なりとお申し付け下さい。☎073-475-0310 和通内

特集

『南海地震がすぐそこに』

湯浅広川消防組合 予防係長

大西和彦



させて頂こうと思います。

「稻むらの火」の安政大地震から一五三年、昭和の南海地震から61年、そして今後30年以内に東南海、南海地震が50%以上の確率で発生すると言われています。

そうした影響もあり消防署へも地震対策、津波対応の訓練や講演会を実施してほしいという依頼が少しずつ増えてきています。防災に携わる者としては頑張りどころです。

それにしても人間というのは自分勝手なもので、どんな大きな災害が起こっても「自分だけは、自分の家族だけは、自分の家だけは大丈夫」と何の根拠もなく思っている人の何と多いことか。平成7年の神戸、さらには平成16年のスマトラ沖地震、津波など村ごと町ごと壊れてしまつたのを報道でいやと言つほど見聞きしてきましたはずなのにである。そこでこの原稿を書く機会を頂いたのを幸い日頃の防災についてPR

学校で『地震により負傷者が多数発生した』という想定で全校生徒が指定避難場所まで負傷者を搬送する訓練を実施しました。かなり多くの人は地震直後の一瞬で破壊されたものです。その後、数日間で長田消防署の前に次々と集結してきた近隣府県の消防車両は、その力を再燃火災の消火と遺体検索に使わざるを得ませんでした。最初の一揺れに耐えうるためには自分の力でゴジラの来襲に備えるしかないので。

耐震診断、耐震補強、家具や大型電製品の固定。マニュアルどおりの謳い文句ですが事前に出来ることをついつい先送りにしていいでしようか。(耐震診断は無料で、耐震補強は条件が整えば行政から補助が受けられます。)

東南海、南海地震による国の被害想定では最悪の場合、湯浅町と広川町で地震動による全壊建物が六〇〇棟以上という予想になっています。残念ながら消防や警察の対応能力を遙かに超えた数字です。こうした状況下で万が一へ緊急避難です。

尚、万が一逃げ遅れた時は鉄筋コンクリートの建物の2階以上



防災避難訓練（於本校グラウンド）

プロフィール
・広川町出身
・耐久高第29期生（昭和52年卒）
・現湯浅広川消防組合 予防係長

高校での次の訓練プランを考える今日この頃です。
そんなことを考えながら耐久

地震。それを乗り切るには「稻むらの火」の五兵衛（瀬戸桔陵）のごとき冷静な判断力と命を守るうとする強い意志が必要です。最近の住民意識は「防災はまず行政が対応すべきもの」という「公助」依存の傾向が強いと言われています。しかし私達が学んだ学校は防災の神様のような人が創った学校です。その精神を受け継いで「五兵衛」の後継者を育てていくことが防災の命題であり、来るべき南海地震を乗り越える一番の力になるはずです。



専門課程 英語学科/中国語学科
学校法人 東海学園(専門士取得)
和歌山外国語専門学校
校長 藤添泰弘
TEL.073-432-8699
〒640-8034 和歌山市駿河町21 FAX(073)431-2720
E-mail:yawaku-1991@vesta.ocn.ne.jp

小・中・高生派遣・受入事業
○ホームステイ・語学研修プログラム
○高校生交換留学プログラム
和歌山国際交流振興会
(JFIE WAKAYAMA)
代表 藤添泰弘
連絡先 和歌山市谷86 TEL&FAX (073)461-9195
E-mail:yabuyasu@hotmail.com

自然保護・環境美化・文化継承活動

グリーンソサエティー代表 三ツ村貞範
TEL (0737) 63-0401ゆあさ行灯アート展 — 4月11日(木)~15日(日)
【作品参加申込〆切 3月25日】

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を！

高校28期同窓会

平成14年、二度目の同窓会を開いたとき、「次は、五年後に再開しよう」が合い言葉になつていきました。

撮り、第28期同窓会実行委員長の大倉君が開会挨拶、そして恩師を代表して古谷先生からご挨拶をいただきました。次いで、三尾先生の乾杯で、宴が始まりました。

50歳を目前に控えても、同窓生がお互いに、少し会話を交わすだけで、あつという間に31年を飛び越えて高校時代に戻れるのです。同級生というだけなのに、本当に不思議なものです。

今回の同窓会は、三回目ということもあり、少し趣向を凝らし、二つのゲームを取り入れて、お互いに楽しむことを計画しました。

一つは、ロシアンルート

はあつという間に過ぎ、待ちに待つた同窓会の日を迎えたのです。参加をお誘いする中で、参加したくても仕事があるなど、この年齢になると本当に忙しいことがうかがえました。

それでも、6名の恩師（坂本先生・玉富先生・長谷先生・松本先生・三尾先生・古谷先生）をはじめ、一八名の方が参加をしてくれました。

みんな笑顔いっぱいで楽しめました。



高28期会様より支援策
のお礼として金一封を頂
戴。有難うございました。

あつどい二間に絶ねてた
同窓会でした。

また五年後に出会える
ことを楽しみに、忙しい
日々に戻ります。

みなぎしらり^ガこう。

堀江宏三

一次会はお開きとなりました。多くの方は、名残惜しいという気持ちもあり、「また五年後に出会いたいね」という声が寄せられていました。

ビンゴゲームはよく知られていますが、参加者の名前でビンゴするという工夫を加えました。

ゲーム開始前に、参加者24名の名前をカードに書いてもらうために、交流を深めることができました。ゲーム開始とともに、会場が一つとなり、ほんとうに楽しい雰囲気が広がりました。

デジカメよりのプリントは
超高画質ジカラー純正で20分仕上げ!
フォトショップブルーナカ
オーケワ湯浅店 TEL(0737) 63-2170
オーケワ吉備店 TEL(0737) 52-7808

油脂・宇治茶
阿瀬誠一郎商店
(高5期)
湯浅町湯浅535 TEL 62-2671

頑張れ耐球(久)
甲子園で同窓会を!!



橘花
Wedding Hall
TACHIRANA

橋爪正文(高39期)
ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.lafitbanaya.jp>

貸し出し用校章小旗と名札を用意します。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)

組織強化支援活動



平成14年度卒業生同窓会



二〇〇七年一月三日（水）に橘家で、平成14年度卒業生同窓会を開催致しました。同窓会のは締め切りも差し迫つていたなか、当日は同窓生が一三〇名ほど集まつてくれ、先生方も8名の参加をいただきました。

最初に幹事長である山下君が挨拶をし、続いて、田津原博文先生が恩師代表として挨拶して下さいました。田津原先生は話の中で、自分がはがきを出すのが遅くなつてしまつたが、今回の同窓会を本当に楽しみにしていました。そして、自身がはがきを出すのが遅くなつてしまつたなどなど、素敵なエピソードをお話し頂き、場内は暖かい雰囲気に包まれました。そして、当日に受付を手伝ってくれた元3年7組の中山君が乾杯の挨拶をし、同窓会は始まりました。

その後はまた、各自の窓会のメインであるビンゴゲームをしました。今回は2回にビンゴゲームを分けて行い、商品は1回目・2回目ともに、iPadやデジタルカメラ、任天堂DSなど豪華商品や、目玉商品以外にも個性あふれる商品で揃えました。商品が並べられる字が出るたび歓声がわき、ビンゴになるのを今かと待ちわびている人がたくさん出てきて、会場は最高の盛り上がりをみせました。

その後はまた、各自の窓会に関わつて頂いた全ての人へ感謝したいと思います。そして次回の窓会ではさらなる充実を深めていきたいと思います。

柏木悠希（高55）

（水）に橘家で、平成14年度卒業生同窓会を開催致しました。同窓会のは締め切りも差し迫つていたなか、当日は同窓生が一三〇名ほど集まつてくれ、先生方も8名の参加をいただきました。

最初に幹事長である山下君が挨拶をし、続いて、田津原博文先生が恩師代表として挨拶して下さいました。田津原先生は話の中で、自分がはがきを出すのが遅くなつてしまつたが、今回の同窓会を本当に楽しみにしていました。そして、自身がはがきを出すのが遅くなつてしまつたなどなど、素敵なエピソードをお話し頂き、場内は暖かい雰囲気に包まれました。そして、当日に受付を手伝ってくれた元3年7組の中山君が乾杯の挨拶をし、同窓会は始まりました。

その後はまた、各自の窓会のメインであるビンゴゲームをしました。今回は2回にビンゴゲームを分けて行い、商品は1回目・2回目ともに、iPadやデジタルカメラ、任天堂DSなど豪華商品や、目玉商品以外にも個性あふれる商品で揃えました。商品が並べられる字が出るたび歓声がわき、ビンゴになるのを今かと待ちわびている人がたくさん出てきて、会場は最高の盛り上がりをみせました。

その後はまた、各自の窓会に関わつて頂いた全ての人へ感謝したいと思います。そして次回の窓会ではさらなる充実を深めていきたいと思います。

情報ボックス

（組織強化支援対象記念同窓会）
50才になる方達と卒業して四年目の同窓生を対象に同窓会開催を呼びかけ支援する活動で今回は三度目です。皆さんに喜ばれ大変好評です。

いよいよ来年はあなたの期です！

柏木悠希（高55）

組織強化委員会



人間国宝である吉田簞助氏が演ずる文楽「寿式3番叟」で華々しく宴の幕が開き、各界を代表する多数の方々の出席と心温まる祝辞、

真奈尚子様（ビクターレコード）の歌唱等が祝う会をより一層盛り上げました。小浦氏は演ずる文楽「寿式3番叟」で華々しく宴の幕が開き、各界を代表する多数の方々の出席と心温まる祝辞、

真奈尚子様（ビクターレコード）の歌唱等が祝う会をより一層盛り上げました。小浦氏は現在全国石油商社の出席と心温まる祝辞、

小浦氏は現在全国石油商社の出席と心温まる祝辞、

小浦氏は現在全国石油商社の出席と心温まる祝辞、



同期生も多く集まり氏と共に

にテーブルを囲み、懐かしく語り合い喜びを共有致しました。

小浦氏は現在全国石油商社の出席と心温まる祝辞、

恩師である廣井隆先生（耐久高校元校長）をはじめ、

同期生多く集ま

り氏と共に

にテーブルを囲み、懐かしく語り合い喜びを共有致しました。

小浦氏は現在全国石油商社の出席と心温まる祝辞、

日本料理 横楠
茶 売 亘（高17期）
湯浅町かじや町 Tel 62-2377

本と文具の店 赤善書店
増 元 裕 二（高43期）
TEL (0737) 62-2946
FAX (0737) 63-6858

株式会社 柏原運送
柏原政夫美（高19期）
有田川町天満328-2
(会社) TEL (0737) 52-5235
(自宅) TEL (0737) 52-3426

・新鮮な魚・貝類いわまたお宿
・各種会合・同窓会に最適!
シーサイド松宮
松宮 功（高11期）
湯浅町湯浅3200（南浜埋立地）
TEL 0737-62-2670
FAX 0737-64-1601

母校を尋ねて

木村哲治氏



校門前にて 別当昌三氏(左)と木村哲治氏

四十一期卒業生木村哲治氏が
経営する「三協則武鉱業」一
行六十名が、「濱口梧陵」の史
蹟を訪ねて研修旅行を実施し
た。折からの小雨模様の中、
午前十時前耐久中学校に到着。
耐久中学校・広川町教育委員
会のご好意で「耐久舎」を開
放して頂き、本校三十九期卒
業の垣内貞先生の「梧陵の災
害時の対処、その後の業績・
生きざま」についてのお話を
拝聴。運動場に残るスタンンド
での記念撮影。村人が梧陵の
指導の下營々と築き上げた広
村堤防を踏みしめながら梧陵
邸跡に到着。来春完成予定の



耐久舎にて 講演を聴く参加者

古い街並みや特産の醤油工場などを見学、宿泊地へ向かつた。研修を通じ木村氏は「従業員に稻むらの火の話を実際に

当地在住の同級生堀武氏・斎藤が同道し説明を受け持つた。国民宿舎「湯浅城」での昼食、研修の緊張もほぐれて昔話に花が咲いた。

「梧陵記念館」と
「津波防災教育セ
ンター予定地」を
垣内氏の案内で感
銘深く見学。尚、

A black and white photograph showing a group of approximately 20-25 people standing in two rows on a grassy area. They are dressed in various styles of clothing from the mid-20th century. In the background, there is a large, light-colored rectangular building, possibly a school or institutional building, with a dark roof. To the right of the main building, there is a smaller structure with a gabled roof and a visible doorway. The scene is set against a clear sky.

梧陵記念館予定地にて

六十数年振りに母校を訪れ日
にするもの耳に響く音の数々
懐かしさと感激で絶句の想い
だつたとのこと。一行の中に
同じく四十一期卒の金屋町出
身別当昌三氏もおられ旅行の
企画等について尽力されたこ
とを付記したい。

また、参加者の皆さんとの研修の感想として、講演時には終始咳払い一つなく、全員唯々感銘と感服の至りでしたとのこと。

戦後の混乱が落ち着かない昭和二十年、種々の要求を掲げたストライキが発生しましたが、今回は「南海大地震」の思い出を述べたいと思います。

耐久懷古（ 南海大地震と耐久 旧耐久中教論 齋藤

ておりました。「せめて前の堤防まででも出たら」と注意して、校長の住宅になつてゐる「記念館（耐久舎）」に行きましたら、校長一家は毛布にくるまつて立つていました。何事もなければなど話をしておりましたら、突然海岸の方から汽車が走るような異常音。すわ津波と韋駄天走り。途中寺村さ

んに声をかけ、堤防まで走り上がりました。校長は大切な物を取り出すために家に入つたようです。私と一緒に逃げればよかつたのにと、後々まで悔やまれてなりません。

家の方も心配なので、途中「津波だぞう！」「津波だぞう！」と連呼しながら自宅まで帰りましたら、家族は家の入口の戸も閉めず避難したあと。近所の村の人達は八幡様の高台に避難したようです。

津波の第五波襲来の頃。学校前の防波堤まで様子を見に行きましたら、運動場端の松原に五十〜六十トン位の機帆船が打ち上げられ、船員さんが流失を防いでいたり、学校の窓から生徒用の机や椅子が行列をなして流れ出ています。村の人達は、学校へ行こうとする私を懸命に止めてくれました。押し寄せる波はあまり恐ろしさを感じませんが、引き潮の破壊力は大変なもので、運動場の土が波に抉られる有様など、本当に津波の恐ろしさを実感しました。

波が小康状態になつたので校舎へ参りましたら、前記の寺村用務員さんが流失は免れたものの、首の辺りを廊下の釘に引つ掛け死んでいるのを発見、あの時無理にでもひっぱり出せばよかつたと、悔やまれてなりません。教員室には小舟が一艤舞い込んで、

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意下さい。



余生を学ぶ同級会

- ③ 感性を磨きみずみずしく
過程を楽しむこと。

② 結果と速さだけでなく
大切にして暮らすこと。

① 早く、大きく、便利に
効率よくから、地域の自
然・歴史・伝統・文化を



(1) 速く 大きく 便利に

効率よくから、地域の自然・歴史・伝統・文化を大切にして暮らすこと。

(2) 結果と速さだけでなく過程を楽しむこと。

(3) 感性を磨きみずみずしい人間関係を取り戻す。

いわば新しい世紀を拓くルネッサンスについてだつた。

続いて辻岡君の講演で、内容はいのちの神秘、生命軽視時代、いのちの感動、美しい加齢の人生、輝いて生きる与生と余生、青年は幻を見、老人は夢を見る。あなたに会えて有り難う、いのちの質を健やかに生きる人生だつた。

今の時代に立ち止まつて考えたいテーマで、予定の時間をオーバーしての聴講だつたがみんな耳を傾け、往事の授業風景を見たようでせき一つせずに聞き入り、荷物にならない大きな旅行土産となつた（因みに前回は「稻村の火から学ぶこと」津村健四朗君と「今の教育事情について」橋本佳巳君の講演であつた）

われわれの同級生は多士済々で講演を依頼したい人物が多く自慢である。ここしばらくはこのスタイルによる同

親宴ではご当地自慢の「かにの料理」に加え、吉田君の粹（すくい）な計らいで安来節（どじょうう）（どじょうう）他ご当地民謡を鑑賞（かんじやう）し、再び辻岡君のマジック・腹話術に拍手喝采（はくさい）、酒を飲み交わしながらの歓談（かんだん）に時間の経つのも忘れ、最後に耐久中学校歌、応援歌を関学グリークラブ〇Ｂの岩崎文彦君のリードと西邑孝君のハーモニカで歌詞を思い出し、つ童心に返り合唱（あわせうたう）。

田中利一郎君（紀州有田商工会議所会頭）の活躍ぶりを聞きながら閉会のことばで締めを行つた。

その後各部屋に別れ夜更けまで旧交を温めたのは勿論。

翌日は境港での鮮魚の買い物（途中、時の話題北朝鮮拉致認定された松本京子さん拉致現場の防風林をバスから見学）と大山・蒜山高原の一足早い紅葉を観賞、車中は歓談に眠くなるのも忘れ、来し方を語り合いながら帰路に着いた。

建物の方は剣道場の被害がひどく、頑丈な床が波の力で膨れ上がり、柱も天井も滅茶苦茶になりました。そのうち、校長の奥さんが行方不明とのことで、皆で手分けをして探しているうちに、旧寄宿舎横の生け垣の傍で発見。津波直前に話を交わした人が一人も亡くなつたので、どうにも気が塞いでならない幾日でした。

津波直後の日、宿直は二人ずつ勤務することになり、二階の講堂の書類干場の片隅に机を並べてベットにしていました。いつか真夜中に階段の方から足音がして、二階のピアノがボンボンと音をたてたとか怪談もどきの話が出て、堀内先生などは便所に行くのに他人に同行を頼んだりして皆に笑われていました。

その頃校長が戦犯容疑で登校禁止の処分があり、檜垣先生が校長事務取り扱いとなりました。紹介曲折ある中で、占領軍の学制改革計画が進められ、和歌山県を男女共学のモデル県にし、県内の中学校・女学校を統廃合して、三の新制高等学校を設置するこ

校名についても当初歴史的伝統のある名称は避けるようになつたが、県下で一番古い伝統を持つた「耐久」の名が残つたことは今もつて不思議に思います。

尚、校地決定の件については正確な経緯は不明ですが、調査に來られた県議の方に「現校地こそ教育環境として最適」と強調したのですが、結果は有田高女地と決定しました。我々の知らない高等政策で決定したものと思われます。

やがて耐久には佐山・箕島には裏辻、吉備には星野の三校長が発令されたものの教員組織は未決定で、私などは耐久・箕島・吉備三校兼務、本拠は引き受け手なしで、吉備の星野先生の「僕の所にいらっしゃいよ」の一言で本拠を吉備に決めたような顛末でした。

今回で懐古録のペンを擱きますが、長年月に亘ることなので記憶間違いや、プライベートなことに触れることもあります。多くありました点編集段階でカットや訂正致しましたので、読者のご寛容をお願い致します。尚、筆者は耐久一筋二十有余年耐久に勤務し、昭和五十九年八十四歳で亡くなりました。多方面に至りご厚情賜りましたこと紙面をお借りしお詫申しあげます。

メールアドレス taikyu-o@creamy.nax.ne.jp



「世界自然遺産」黄龍展望

高4期生恒例の中国旅行

高4期 四川探訪記

2000年から始めた恒例の4期生中国旅行は、第6回となる今年紅葉の時期を選んで、10月16日から21日まで5泊6日、四川省の世界文化遺産『都江堰』、同自然遺産『九寨溝・黃龍』を訪ねた。

北京経由で西南航空機に乗換え夕刻成都に着陸、翌日午前バスで出発、2300年前に造営され、今も成都平野を潤している水利施設都江堰を山上の二王廟などからたっぷり眺め、下に降りて吊橋を渡り中州島を散策する。私達は10人だが國慶節のゴールデンウィークは既に過ぎているのに観光客はいっぱいだ。午後は長江の支流岷江沿いにひたすら標高を上げてゆく。ガソ

リインスタン
ドで給油中、
ての市を冷
やかす。果物
の種類が豊
富である。飛
行機でひと
飛びに行くより、こうして飽きることなく風景を眺めながらゆくと、旅の方はアバというチベット族チヤン族自治州に成っていて、北は甘肃省と青海省に接している。第三日標高4000mの峠をバスで越える。前夜3600mぐらいから上は冠雪して、目に入る山々は全て雪化粧をしている。峠を下つて黄龍の登り口に到る。ここから上に3.5km往復7kmがある。テレビで何度か見た黄龍である。みんなよく歩く。酸素ボンベを全然使わなかつた人もいるが、私は用心して早め早めに、歩きながら使ってしまつた。第四日は九寨溝めぐり。黄龍の美妙なる奇観には、自然に感服の嘆息がでたものだが、九寨溝ではただただ圧倒されるばかり。槍ヶ岳・穂高岳以上の高地で、次々に展開するさまざまな瀑布と湖、その迫力たるや如何なる映像も説明も表現不可能である。正に百聞不如一見。帰国後私は、那智の滝が一本の絹糸が垂れ下がっているようと思えてならないのである。

前田滋子（旧姓松谷）



玉壘仙都



高6期同窓会 大阪で開催

昨年の古希記念「修学旅行の再現旅行」に続き、今年は秋晴れの9月30日に大阪城を望むホテルニューオータニ大阪で開催しました。地元和歌山からは勿論のこと、遠く関東地区からの出席者も7名を数え、総勢50名もの参加申し込みがありましたが当日が近づくにつれて本人はともかく、近くの身内の者に不都合が発生し

欠席者がちらほらと出て、やはり寄る年波には勝てないものだと話し合いました。50年のタイムトンネルをくぐって、心と顔つきはいつしか耐久生に戻り、時の過ぎるのも忘れて歓談は尽きませんが、全員で「たたえよ耐久」と大声を張上げて、別れを惜しみながら再会を約して家路につきました。（荒木彰一）



 ベットと泊まるログハウスの宿 パートナーズハウス ゆあさ 横山 享 (高14期) 湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411 URL: http://www.partnershouse.jp	関東耐久会 副会長 北野 正治 (高校・昭和31年卒)	関東耐久会 副会長 大野 博司 (高校・昭和32年卒)	関東耐久会 名誉会長 (株)アイ・エヌ・エー名誉会長 高居 富一 (旧中・昭和17年卒)	関東耐久会 会長 九鬼 利郎 (高校昭28年卒)
同窓会への問い合わせ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。（事務局）				

高10期
会員登録

第8回Q&Pクラス会

Q&P会を紹介します。昭和30年4月入学、1年A組、クラス担当が石川県から赴任された野崎英雄先生です。

男子生徒は先生に大変迷惑をかけ、又先生もクラス運営にご苦労であつた事と思います。

一例に、授業を放棄して運動場に積もつて雪を教室の先生の机上に置いた記憶があります。また、先生のお顔が人形のキュー
ピーさんに似ていた事もあり、当時の愛称がQ&Pで、大変親しみのある先生でした。

第一回が先生の地元金沢で奥さまもお迎えして、Q&P会と名付け30名が参加しました。

久し振りの再会で、懇親会は1年A組に戻つての授業形式でした。当時は表面に出なかつた事柄も披露され楽しく過ごせました。それからは二年毎の開催が待たれるクラス会になりました。

又、この会では訪れる先で伝統、文化、史跡等にふれます。

第一回が金沢市街の町並散策等、京都では天龍寺での早朝座禅

修行、高野山では、奥の院に参拝し、死去された同級生の供養、第8回目は飛騨へ。川筋の朝市での買物や古い町並の散策等でありました。

参加者は当初よりは、所用や病気等で減少してきていますが、今後共是非続けていきたいと願っています。

秋の叙勲で野崎先生が教育界の功労者として「瑞宝小授章」を受賞されました。この様に学生時代に良き先生に恵まれ、半世紀経つた今も恩師をお迎えしてクラス会を続けていける事に感謝しています。

坂口 計夫



同窓会活動報告

2006年

- 7. 14 栗山和夫氏遺作作品寄贈式 (学校)
- 27 全国大会出場クラブ
(バトミントン・空手・放送演劇・マンドリン) 激励金贈呈
- 8. 4 会報委員会 (学校) 会報18号発行
- 9. 1 郵便振替口座開設
(郵便振替払込票の作成)
- 10 関西耐久会総会
(於: シティプラザ大阪)
…校長、会長、伏木、橋本、白井
- 22 第四回役員会 (学校)
- 11. 7 「がんばれ母校! 先輩が先生」
竹中郁夫氏(高・理1期 S47年卒)講演
- 22 和歌山耐久会総会(於: 和歌山東急イン)
…校長、会長、伏木、橋本、白井
- 24 役員会・懇親会 (於: 横楠)
- 12.13 会報委員会 (学校)

2007年

- 1. 17 会報委員会 (学校)
- 25 組織強化委員会 (学校)
- 2. 7 会報委員会 (学校)
- 26 組織強化委員会 (学校)

教育界改革の今こそ…
母校への更なる支援と関心を!

橋本印刷所 橋本佳巳 (高4期)

総合ビルメンテナンス業
(株)ウイ・キャン・コーポレーション
代表取締役 岡伸彦(高14期)
社長 岡勇作(高19期)
大阪市旭区中宮4丁目14番9号
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

相続・金融・行政官庁申請
寺村行政書士事務所
行政書士 寺村創(高21期)
携帯 090-6914-4610
事務所〒643-0071
和歌山県有田郡高川町西仲町1249
TEL 0737-63-1445

ビジネスインテグレート(株)
萩平勲
(高10期)
大阪市中央区谷町1-3-17-301号
TEL(06)6941-8282 FAX(06)6941-8248
メール hagihira@businessintegrate.co.jp

郵便振替口座の開設について(口座番号)00900-5-298293(口座名称)和歌山県立耐久高等学校同窓会 (加入者払込局)湯浅郵便局

清掃活動
硬式野球部主将
平松稔史

の行動を考え、実行する事の大切さを肌で感じることができました。

この二日間で経験したこととは小さい事ですが、得たものは大きかったです。

なんだと、何事にもへこたれない強い人間になればと思います。



僕たちの母校の創始者である濱口梧陵先生が設立し、広川町に保存されている県指定史跡「耐久舎」を訪ねて、清掃をしたこの二日間、ただボランティアをするということだけではなく、自分の心を磨く良い機会になつたと思います。「耐久舎」や「広村堤防」を一、二年部員やマネージャーたち三十八人がほうきやぞうきんを手にし清掃することで、一つの事を全員で成し遂げる事の喜びや苦労を学び、チームの一人一人が次負っているのは僕たち

この学舎を清掃することで濱口梧陵先生の生きざまと魂を感じ、その偉大さを改めて見つめ直すことで、広川町公民館長清水勲先生の話にもあつたように、「今、耐久の名を背

き一拭きに心を込めて、葉があるように、一拭き一拭きに心を込めて、本校の原点である「耐久舎」の清掃に取り組めた事をうれしく思います。

からも耐久の名に恥じないよう努力をしていきたいと思います。

絆 軟式野球部の巻

現在、軟式野球部は、二年生六人、一年生九人、マネージャー五人の計二十名で、活動しています。私は四月からマネージャーとして参加しています。



六月から的新チームの戦績は、夏の県大会が三位。そして新人大会は準優勝と

いう好結果を残すことができました。それらの大会で逆転したことが多く、いつも試合後は選手・マネージャー・先生みんなで興奮していました。

このチームの特徴は「とにかく声が出る、とにかく明るい」に尽きます。「とにかく」を二回使ったのは、試合中も声を掛け合って、明るい雰囲気で楽しく野球も楽しんでいます。

マネージャーの私が見たら、このチームの特徴は「とにかく声が出る、とにかく明るい」に尽ります。「とにかく」を二回使ったのは、試合中も声を掛け合って、明るい雰囲気で楽しく野球も楽しんでいます。

本当に感謝しています。

マネージャーの仕事は、お茶入れだけではありません。私はいつも、野球の経験を活かして選手に役立つ事を何でもしようと心がけています。この裏方の仕事を実際に出来るのですから、これ以上幸せなことはありません。

今、県内の軟式野球部のチームは七校と少ないです。どちらえ、次の大会こそ頂点を目指します。

一年生マネージャー
阿部智之

は九年間野球をしてきましたが、このようないい雰囲気のチームを今まで見たことがあります。私は四月からマネージャーとして参加しています。

けじめがつきました。そのけじめを先生・キヤブテンが、しっかりと付けてくれます。そのこともこのチームの特徴です。けじめがあつたからこそ、準優勝ができたのだだと確信しています。

実は、私は足の病気で野球を諦めざるを得ませんでした。しかし野球が大好きでした。しかし野球が大好きです。大好きな野球に恩返しするために、マネージャーになりました。男子のマネージャーは珍しく、当初は戸惑いましたが、今では仕事をするのが生きがいとなっています。先生・先輩・同級生の支えのお陰だとうことも忘れてはいけません。

本当に感謝しています。

マネージャーの仕事は、誰もが敬遠したであろう創立130周年では副会長として、150周年では期生にとっては支柱を失くしたもの」と広井先生は語っておられます。

・ 平井康雄氏の他界は「三

期生にとって支柱を失くしたもの」と広井先生は語っておられます。

・ コンサートホールに待てる我が前に立たる背高さ青年孫ぞ

・ 神の里 心清める初詣で天岩戸の静けさの中

・ 菜の花の苦みは春の宝物季の生み出だす痛み含んで

・ 岩寄弥生 (高4期) 下野香代 (高20期)

・ 栗原文子 (高4期) 天野香代 (高20期)

・ 神の里 心清める初詣で天岩戸の静けさの中

・ 引く波に梳られし鹿屋菜かな

・ 稲むらの火・耐久創始者濱口梧陵翁を偲び、ルーツを訪ねるイベント

・ 関西耐久会がこの企画をいたしました。有田・和歌山・関東の耐久会の方々にもご参加いただき、「オール耐久」が集う大集会になります

・ 6・7ページで御覧のよう

・ いつたいわれわれはどこでどう間違つてしまつたのかと考え込まずにいられません。

・ また一方で、親子・兄弟殺傷事件など、おぞましいニュースが氾濫しているにつけても大地震・津波襲来に対するものなりました。

・ 昨今の防災意識の高まりを表すものなります。



同窓歌壇

市ノ瀬 伊久男 (職員)

・ 引く波に梳られし鹿屋菜かな
・ 稲むらの火・耐久創始者濱口梧陵翁を偲び、ルーツを訪ねるイベント

・ 関西耐久会がこの企画をいたしました。有田・和歌山・関東の耐久会の方々にもご参加いただき、「オール耐久」が集う大集会になります

・ 6・7ページで御覧のよう

・ いつたいわれわれはどこでどう間違つてしまつたのかと考え込まずにいられません。

・ また一方で、親子・兄弟殺

傷事件など、おぞましいニユースが氾濫しているにつけても大地震・津波襲来に対するものなりました。

・ 昨今の防災意識の高まりを表すものなります。

編集後記

こうして出来上がつてみると、今回の19号は防災関連の記事が多くなりました。これも大地震・津波襲来に対するものなりました。

記事が多くなりました。これも大地震・津波襲来に対するものなりました。

・ 江川瑞峰様(高15期)より多額のご献金を頂きました。厚く御礼を申し上げます。

・ 郵便振替によりご協力ご支援下さいました。厚く御礼を申し上げます。

・ 和歌山耐久会役員寺浦さん(高42中期)申し上げます。

・ 公私共に大きな足跡を印された先輩のご冥福を祈ると共にこの像の持つ意義を今一度味わつて頂きたいものと思います。

・ 江川瑞峰様(高15期)より多額のご献金を頂きました。厚く御

礼を申し上げます。

・ 郵便振替によりご協力ご支援下さいました。厚く御

礼を申し上げます。

・ 和歌山耐久会役員寺浦さん(高42中期)申し上げます。

・ 和歌山耐久会役員寺浦さん(高42中期)申し上げます。